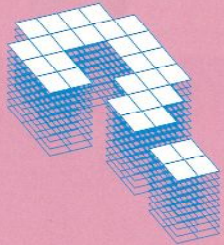


夢に向かってチャレンジする企業を応援します。

# uchicochi

うちでのこづち



先義後利

LEADER'S PRESS

21世紀を拓く

フジテック株式会社 代表取締役社長

内山高一

CULTURAL@SHOP

大人が癒される心の贅沢館

花屋 かずろう王国

●先義後利(せんぎこうり)  
まず第一にすじみち、道理をよく考え、  
利害打算はそのあとにすること。

●プラザ事業紹介●滋賀県元気企業紹介●わが社のホームページ自慢●SMILE

2007.VOL

41

発行/(財)滋賀県産業支援プラザ



# チャレンジ精神と グローバルマインドで、 独創性を発揮することが、 企業発展の原動力になる。

フジテック株式会社 代表取締役社長

**内山高一**（うちやまたかかず）

世界20カ国に企業拠点を擁し、世界に名だたるエレベーターメーカーに成長を遂げたフジテック。昨年4月に本社を滋賀に移転。11月には世界一の高さで規模を誇る地上170mのエレベーター研究塔が完成。研究開発部門、生産部門にコーポレート部門も加え、総称“ビッグウィング”として最新の設備をフルに活用し、他社に先駆けた世界初となる新技術、新商品を創り出している。先見の明を持ち、グローバルマインドで飛躍する同社の内山社長に、そのチャレンジ精神を語っていただきました。

## 社会のニーズにいち早く 応える商品を創ることで、 先鞭をつける企業に。

フジテックは戦後間もない混乱の時代に、創業者である内山正太郎が設立しました。当時はエレベーター、エスカレーターというのは、一般にはそれほどありませんでしたので、コンベアやロープウェーなども製造しておりましたが、復興と共にビルが建ち始め、エレベーターのニーズが出てきました。国内での需要はもとより、先見の明を持って、国際化社会の到来を予測し、世界を活動の場として今日までエレベーター筋で邁進して参りました。

業界に先駆け、香港に現地法人を作ったのが1964年です。日本より高層ビル

が林立する香港や東南アジアの方が当然、エレベーターのニーズが高く、当社の高度な技術を生かせるチャンスがある。これが、「世界は一つの市場」というグローバルな視野を持つことへと自然につながっていき、その後、北南米、欧州、中東へと進出していきました。

昨年11月、世界一の高さで規模を誇る170mの「エレベーター研究塔」を建てましたが、常にどの時代でも、専門メーカーとして他社に先駆けた商品を開発・実用化していくことを使命として、オンリーワン技術を目指してきました。近年は、経済環境や社会環境がめまぐるしく変化しています。時代にマッチしたものを考えていく必要があります。今年でいうと、団塊の世代の退職で世代交代が進み、ま



世界一の高さ(170m)と規模を誇るエレベーター研究塔が立つ、フジテックの新たな活動拠点“ビッグウィング”。近江鉄道の米原駅と鳥居本駅の間に「フジテック前駅」ができ、地域住民の方々の利便性向上にも貢献。

すます高齢化社会に入り、少子化問題もかかえています。

最近では高層マンションが多数建設されていますが、そういう中で、エレベーターはどうあるべきか。スムーズで快適な乗り心地はもちろん、地震や停電といった緊急時の対応は万全か、省エネルギー、省資源といった環境への配慮はどうかとか。こうした社会のニーズに建物も対応しなければならず、エレベーターもそのニーズに的確に対処していく必要があります。さらに、防犯であるとか、セキュリティの問題に人々が敏感になってきています。エレベーターもあらゆる社会のニーズにいち早く応え、お客さまに喜んでいただける商品を創ることで、先鞭をつける企業となりうるのだと思います。

## “共存共栄”が フジテックの企業理念。

エレベーターというのは建物の大動脈になります。エレベーターがきちっと機能しないと、そのビルの交通、つまり生活が維持されないわけです。ただ単に速いだけでなく、安全で、乗り心地がよく、乳児から高齢者まで安心して乗っていただき、





プロフィール/1951年兵庫県生まれ。1976年ニューヨーク大学経営学部卒業。同年、フジテック(株)に入社。1978年国際本部長補佐を経て、取締役就任。1981年常務取締役、1989年専務取締役、1992年代表取締役副社長を経て、2002年代表取締役社長に就任し、現在に至る。一貫してグローバルな視野で積極的な世界戦略を推進し、専門メーカーとしてトップ企業を目指している。

全ての面を満たしている交通システムではないといけません。こうしたマーケット需要に的確に対応するために、商品開発から設計、生産に至るまでスピーディーな一貫体制を構築することが、さらなる飛躍につながるという構想のもと、“ビッグウイング”を建設致しました。

滋賀を選んだのは、一つには交通アクセス面です。名神、北陸道、新幹線など交通の便に優れ、しかも中部圏にも近く、物流面でも有利です。もう一つは環境面です。周辺が豊かな自然環境に恵まれているため、職場環境としても非常に快適な環境だと思っています。今でこそ社員は遠くから通勤していますが、5年10年経ってくれば自然と地元で社員が移り住んでくるようになるでしょう。そして、この地がもっと便利に、もっと魅力的になっていけば、さらに発展していくことは間違いありません。

当社の進出は、滋賀の産業振興、雇用

機会の増大につながると考えています。ですから、我々がこの地を選んで企業として継続、発展していく上において、地域も一緒になって活性化していくことを期待しています。その国にしっかりと根を下ろした企業活動により、それぞれの国の発展に貢献するという“共存共栄”がフジテックの企業理念です。これは、近江商人の商売の理念であります「三方よし」の考え方と相通じ、フジテックのグローバル展開の基本になっているのです。

### ものづくりには チャレンジ精神と有言実行で 貫徹する行動力が必要。

当社は創業以来、何事にも果敢にチャレンジしてきました。社員に求めるのは、失敗を恐れないチャレンジ精神と、目標を決めたら前を向いて成功を信じ、有言実行で貫徹する行動力。そして、新しいことを先取りするといった先見性と柔軟

性ですね。世の中は非常に早いスピードでどんどん変わってきています。フレキシブルなマインドと、さらにはグローバルマインドが必要だと思います。

最近では、中国の台頭であるとか、東南アジア、特にインドといったところが急速に伸びてきています。日本を中心に考えるのではなく、もっと広く世界的な視野に立ち、発想力、独創力を養うことも大切ではないでしょうか。また、事業においては「選択と集中」の徹底が重要です。会社が得意とする分野に経営資源を集中させる。1社で全てやるということは恐らく不可能だと思います。

フジテックも創業からエレベーター・エスカレーター一筋で参りました。他社にない独創性の発揮が、企業発展の原動力になります。ものづくりに携わる皆様には、日本のみならず、世界的視野に立ち、ナンバーワン、オンリーワンをぜひ目指していただきたいと思っています。



### ■窓口専門相談員と……………

現在、事業を営んでおられる方、または事業を始めようと計画されている方が、事業上の問題点や疑問、事業計画などへの助言が欲しいとお考えのとき、当プラザの専門相談員にご相談下さい。担当者がお話しを伺い、支援策などのアドバイスも致します。プラザのホームページからインターネット相談もできます。

<http://www.shigaplaza.or.jp/mdg/>



### ■専門家と……………

プラザの専門相談員だけでなく、「コンサルタントなどからさらに専門的な相談をしたい」、また、「診断助言を受けたい」などのご希望をお持ちの方は、プラザに登録されている専門家(約450名)からのワンポイントアドバイスを受けていただけます。

登録専門家の実績や経歴等については、プラザのホームページに掲載しています。ご希望の専門家をご指名いただけますが、どの専門家に頼めばいいのかわからないような場合はプラザからご紹介させていただきます。

<http://www.shigaplaza.or.jp/senmon/>



**ご相談には、いつも迅速・親切・丁寧な対応を心がけています。**

皆さまからの私どもへのご相談は、これまでに累計12,000件以上にも上っています(平成17年度は毎月約180件のご相談がありました)。創業や事業等についてお悩みごとなどがあれば、どうぞお気軽にご連絡下さい。

専門相談員/角 輝雄

**【お問い合わせ先】 経営支援部・経営支援グループ**

TEL.077-511-1412 e-mail : keiei@shigaplaza.or.jp



当プラザ1階情報資料コーナーでは、  
 「商圈マップ」による商圈情報の提供を行っております。  
 新規出店や販売戦略、既存店の競争環境の把握などにお役たてください！

**商圈マップ[商圈分析システム]では  
 こんなことができます。**

**① 商圈調査**

出店・経営分析に必要な統計データを取得できます。  
 (県内のみ)

- ・ 国勢調査／人口・世帯数・年齢別人口など
- ・ 住民基本台帳／人口・世帯数など
- ・ リンクデータ／昼夜間人口など
- ・ 商業統計
- ・ 事業所統計
- ・ 家計消費支出
- ・ 年収別世帯数

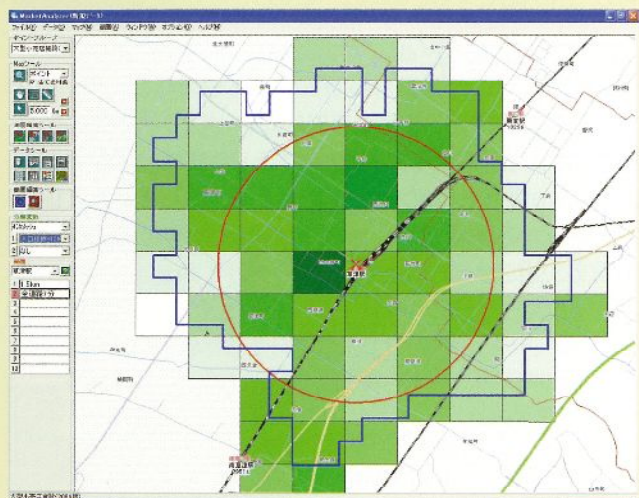
	草津駅より半径1.5km	草津駅より車で7分
人口総数	45,834	66,284
65歳以上人口総数	5,019	7,380
世帯総数	17,739	24,933
年収1000万円以上世帯数	2,343	3,408
運動用具類年間消費金額	¥243,436,257	¥360,852,268

**② 競合店調査**

競合店情報を地図上に展開することにより、競合状況を確認し、統計データとあわせて、経営判断の資料とすることができます。

**③ 顧客データ**

対象とする顧客データを地図に表示し、マーケットの選定や、効果的な宣伝地域などの分析ができます。



**利用者の喜びの声**

- 今まで、1日かかって作っていた資料がこんなに簡単にできて助かりました！
- 候補物件があるのだが、その商圈の状況がわかりこれからの対策が見えてきました！
- 新規出店の店と、既存店の商圈状況を比較し、顧客ニーズのイメージが沸いてきました。

ご利用者が画面をご覧になり、感嘆されると同時に喜ばれる姿を見ると商圈マップの威力を実感します。ぜひあなたも一度実際に見てみませんか？お待ちしております！



**【お問い合わせ先】 経営支援部・経営支援グループ 担当：加知**  
 TEL.077-511-1412 e-mail : keiei@shigaplaza.or.jp



ビジネスカフェ  
あきんどひろば

2006.11.10~2007.2.7

メイン会場：エルティ草津地下1階



平成18年11月10日から平成19年2月7日までの約3か月間のイベント  
“ビジネスカフェあきんどひろば”が終了しました。  
何が生み出されたのか、その充実した3か月を振り返ってみたいと思います。

■ビジネスカフェができるまで

“ビジネスカフェ”を実施してほしいという依頼をいただきました。予算にも制約がある中で、効果的な場をどう創造するのか課題山積のなか事業はスタートしました。最初にして最大の課題であったのが“場所”です。その時のことがブログに残っています。

エルティ地下1階に決定するまで紆余曲折ありました。土日も足が痺れるほど歩き回って探したので結構大変でした。日本で成功を収めた「サッポロBizCafe。」はプレハブの建物で1階がラーメン屋で2階がBizCafe。(中略)もともと草津駅前にはSOHO(スモールオフィス、ホームオフィス：起業者のためのインキュベーション施設)もあり、交通の利便性も高い、Cafeとしては1等地。起業家の数も比較的多いエリア。

「よい所によい場所ありませー」の一報が入った。早速、見に行くことにする。そこで出会ったのが今回のビジネスカフェ「あきんどひろば」エルティ草津B1Fの会議室。周りは交流会の場所に事欠かないお店がたくさんあり。目当てのラーメン屋さんもある(Very Good)。

この会議室はビジネスカフェ「あきんどひろば」のために準備されていたようなものでした。もっともBizCafeでのセミナーなどは、昭和初期のビジネス知識ではなく“web2.0”やITを駆使したマーケティングなど最先端の情報・知識を提供しようと思っています。

このような経緯を経てエルティ草津の地下1階に決まったのです。しかし、周りは昭和30年代のレトロ街。殺風景な会議室とのギャップがある。レトロ感覚を残しながら美味しい珈琲を提供する“場”の設置となると、思いもかけず大変なことだと解りました。

お金はかけられないので知恵と体力で手作りの“ひろば”を作ろうということになったのです。木材を購入し、ペンキを塗り造作しました。ペンキ塗もコラボしが21やSOHOの入居者、県南部振興局や草津市役所の方々が自然と集まり協力していただいたのです。振り返ってみるとこの仲間がビジネスカフェを運営する上での心の支え、原動力であったといえます。

他に重要なのがビジネスカフェのコンセプトです。コンセプトが明確であったからこそ、“場”を活かした運営ができたのです。





## “ビジネスカフェあきんどひろば”のコンセプト

“あきんどひろば” 3つのFについての話しです。  
3つのFとは、“あきんどひろば”の精神である  
Free、Flat、Frankの頭文字をとったものです。

「Free」は誰でも自由にどうぞ来店ください。肩書、職業など関係ありません。

「Flat」は上下といった垂直の関係ではなく水平なお付き合い。

「Frank」は遠慮しないで率直に話し合える。

3つのFを精神にもつ“あきんどひろば”はオープンな人間と情報が集う「場」の意味です。BizCafeである“あきんどひろば”は誰もが自由に入出入りできて、誰とでも気軽に情報交換し、ビジネスに関する多くの情報や知識、スキルを身に付けることができる“場”ということになります。

17～18世紀海運業者の溜まり場であった英国のロイドコー

ヒー店、米シリコンバレーのカフェやレストラン、東大阪の工場集積地のコーヒー店でもBizCafeを見ることが出来ます。堅苦しい会議ではなかなか本音を聞くことは出来ませんが、喫煙所やリラックスできるカフェなどでは本音が出るものです。実はその本音がとても重要な情報になります。

## ■“ひろば”を盛り上げる企画が登場

われわれはこの“ひろば”で何かを生み出す、何かが生み出されると信じていました。オープン当初は、確かに我々が主催するイベントが中心でした。しかし、後半は違います。高校生が参加するチャレンジショップやビジネス落語、地元商店街を巻き込んだ結婚式、やる気のある女性が集まり企画したイベントの開催、インキュベーション入居者の会（IB10やKSV）が発足するなど、自らの企画でこの“ひろば”を盛り上げようとする気運が行動となって現れてきました。

起業者がいて中小企業や商店街の経営者もいる、起業者とかつて起業者だった方が出会い、ビジネスにつながったり、情報チャンネルの拡大、再び起業者精神を呼び起こすなど、

ひろばの運営を通じ新事業の創造効果があることがわかりました。

この積み重ねと継続が大きな“うねり”となる予感があります。このパワフルな起業者精神を活かす仕組みが地域に根付けば、地域が地域の起業者を育てる仕組みが構築できるのではないでしょうか。ビジネスカフェ「あきんどひろば」がビジネス・インキュベーションの役割を果たすとの確信をもちました。

本当にたくさんのご来場ありがとうございました。一旦ビジネスカフェは終了しましたが、ビジネスカフェ・ブログは健在ですし、新年度も“ステージアップしたビズカフェ”を実現すべく努力中です。応援してください。



▲チャレンジショップでは学生が地元名品の販売を通じてビジネスを学びました。



▲滋賀女磨き塾では、地元女性起業者が集まり、「美」をテーマにしたイベントを開催しました。

●「ビジネスカフェあきんどひろば」ブログ

<http://bizcafe.shiga-saku.net/>

【お問い合わせ先】新事業支援部・創業支援室

TEL.077-511-1416 e-mail: in@shigaplaza.or.jp



## インキュベーション 入居企業紹介

# 地域活性化の新しい 可能性ここにあり！ ブログがつなぐ新しい“滋賀”

2006年7月1日に地域ブログポータルサイト「滋賀咲くブログ」を開設した合資会社ドットラボ。コラボしが21インキュベーションに入居中のベンチャー企業だ。ドットラボが目指すのはブログを通じた地域の活性化。代表の松崎さんに、その想いを語っていただきました。



合資会社ドットラボ・代表  
コラボしが21（4階）

松崎和弘  
（まつざきがまひろ）

### インキュベーションオフィスで起業。 新しいメディアをみんなで作りたい。

滋賀でブログを使ったポータルサイトを開設したのは当社が初めてだと思います。ブログのポータルサイトを思いついたのは、2005年夏頃。当時は地元で新しく創刊された新聞社で広告担当として働いていましたが、新聞という昔からあるメディアと新しいメディアの融合に興味を持って色々調べていました。残念ながら新聞社は新聞創刊半年を経ずして倒産してしまい、社員は解雇されました。ちょうど募集のあったコラボしが21インキュベーションに幸運にも入居でき、さてどういふビジネスをやっているかと、しばらくあれこれ考える日々でした。

ブログポータルサイトの立ち上げには、それなりの初期投資が必要です。起業間なしの小さな会社には投資できるお金もありません。サイトスポンサーを数社に掛け合いましたが、実現にはいたりませんでした。そんな折り、インキュベーションマネージャーから県のようなベンチャー支援の融資がある事を聞き、道が開けました。県の新事業創出枠融資を受け、サイト開設準備を始めたのが、2006年3月頃。既に沖縄で多くのブロガーを抱え、活況を呈していた「ていーだブログ」で使われているシステムを導入。外部スタッフに協力いただいたものの一人での立ち上げだったため、時間はかかりましたが、6月にプレオープン、7月1日にグランドオープンを迎えることができました。ブログサイトにこだわったのは、ブログは「一人一人の情報発信」が基本で、みんなでサイトを作っていける可能性を持っているからです。

### 目指すのは“滋賀”の今がにじみ出るサイト。 PV（ページビュー）100万、1000万へ・・・。

7月末には約100ブログが開設され、サイトのページビューも30万PVと予想よりも多い数字でスタートできました。2007年1月末には開設ブログ数も400を越え、サイトPVも95万と100万PVを何うまでになりました。非常にきれいな右肩上がりの成長ぶりです。沖縄のサイトは月のPVが、1500万～2000万、ブログ数も1万2000を超え沖縄No.1のサイトになっています。我々ももっともっと頑張らねばなりません。資金力が無いので派手な広告はできませんが、ブログ教室を地元のパソコン教室などに協力してもらいながら実施したり、飲食店や商店にチラシを置いてもらったりと、地道なPR活動を続けてきました。ブロガーの方の口コミもありがたいPRです。今では1日に130以上の記事がブログでアップされています。個人の日記や、企業のPR、団体の紹介、スタッフ発のおすすめ情報などバラエティも豊富です。「滋賀咲くブログ」は滋賀の事しか書けないのですか？という質問を良く受

けます。決してそんな事はありません。滋賀に滋賀にとこだわる必要もないと思っています。みんなが、自分の楽しみとしてブログで情報発信していく中で、生きた滋賀の「今」が自然ににじみ出てくると思いますから…。

### 一人でも一社でも一団体でも多く、 元気になる人が増えれば、 “滋賀”はもっともっと良くなる！

ブログに出会い元気になる人が増えています。第二の人生を考えておられるシニア層。日々の子育ての合間に日記を綴る主婦の方。自慢の一品を写真でアップするレストラン…。昨年末にはクリスマスオフ会も開催し、20名を超えるブロガーが集まりました。日頃ネット上でしか知らない人とのリアルでの出会いは大変楽しいもので、大いに盛り上がりました。ドットラボのコーポレートフレーズは「世の中の素敵をつなぎたい」です。大手サービスとは違う「出会える距離感」こそ地域ブログサイトの最大の魅力だと思っています。例えば、ブログで紹介された滋賀のお店や注目スポットにも、すぐに行く事も出来ますし…。サイトの魅力作りの一環として新しい機能の導入にも積極的に取り組んでいます。2月からはトップ画面中央に動画が見られるテレビも導入しました。話題のひこにゃんも見られます。また、コミュニティFM局「RadioSweet81.5（東近江）」とのコラボレーションによるポッドキャストコンテンツの配信も始めました。週替わりでブログをピックアップし、パーソナリティがブログをネタにしゃべるショートプログラムです。正直、月々の維持費やサイト運営のための人件費など出費も馬鹿になりません。今後はサイトアクセス数を生かした収益事業の展開を図りながら、より安定した楽しいブログサービスの提供を目指していきたいと思っています。一人でも一社でも一団体でも多く、このサイトで元気になって、そして結果“滋賀”がもっともっと元気になるお手伝いが出来ればと思っています。ユーザーの喜びの声が、何よりの励みです…。



<http://shiga-saku.net/>

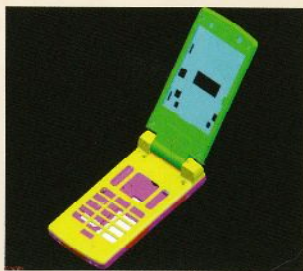


●詳しい内容をプラザホームページで紹介しています。

URL:<http://www.shigaplaza.or.jp/uchide/main.html>

コンピューター好きを集めて、IT武装集団を形成！  
後発メーカーの強みを活かした、  
従来にない金型づくりを確立。

繊維機械メンテナンスの長浜製作所を経て、1973年に近畿精工株式会社を設立し機械部品加工を始める。1985年に高精度金型製造設備の導入の後、3次元CAD/CAMを使ったソリッドモデル設計の採用を機に金型専門メーカーに変身。携帯電話筐体の金型製作が本格化するなか、モデルチェンジと頻繁な金型改造により今までにないQCDが求められる、それに対応するためコンピューターによる金型生産システムの構築を掲げる。社内の図面レス化を進め、短納期や急な設計変更などに柔軟に対応できる金型生産体制を確立。経営革新と共に日本の金型づくりの変革に挑む。



3次元CAD/CAMを使ったソリッド設計による携帯電話筐体。



近畿精工株式会社  
代表取締役社長  
畑澤康弘さん

- 本社/滋賀県長浜市西上坂町275
- 設立/1973年
- TEL.0749-63-3596 FAX.0749-62-2641
- 業務内容/精密プラスチック金型設計・製作、各種金型パーツ・電極加工、三次元モデリング・NCプログラム作成
- URL : <http://www.kinki-seiko.net/>

お客さまの立場にたって、すべてを把握して責任をもって売る、  
近江牛の販売を通じて、滋賀の食文化の発展に貢献する企業。

1983年、草津市に「さかえや精肉店」をオープン。2001年からのBSE問題で牛肉の需要が落ち込んだことから、生産者の努力や販売店としての姿勢をインターネットで発信。「おいしい近江牛を多くの人に食べてもらいたい」と、社長みずから買い付けた牛を牧場委託するなど流通もシンプルにして、牛肉のトレーサビリティを公表。インターネットでの牛肉の販売方法を確立する。このビジネススタイルは一般のお客さんだけでなく各業界で評価され、以来、自社ホームページをより充実させることで販売業績を伸ばしている。



ショーケースの上には、販売中の近江牛の生産履歴書が掲示されている。

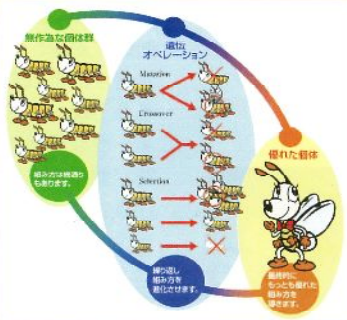


株式会社サカエヤ  
代表取締役社長  
新保吉伸さん

- 本社/〒525-0046草津市追分町1247
- 設立/1983年
- TEL.077-563-7829 FAX.077-563-8239
- 業務内容/食肉販売・加工
- URL : <http://www.omi-gyu.com>  
<http://www.holumon.com/>

創業以来、産学共同による「遺伝的アルゴリズム」の最適化で、  
物流・流通・生産行程管理など新市場を開拓。

1990年創業の村田機械(株)のシステム開発部門を前身とするソフト会社。創業当初から産学共同の研究開発でGA(遺伝的アルゴリズム)を世界で初めて実用化に成功し、新しい分野を築く近未来の指針となる歩みが続けている。GA最適化技術の適応パッケージとして、物流分野・流通分野・生産工程分野等々から人間の生活環境の支援範囲まで開発分野を拡大。ERP分野では企業の経営資源を有効に活用し経営の効率化を提案。現在、医療診断(中枢神経・末梢神経)分野のソフト開発等々の新たな市場開拓へと挑戦を続けている。



GAの概念図。



株式会社システムラボムラタ  
代表取締役社長  
川越 孝司 さん

- 本社/大津市木下町18-8
- 設立/1990年
- TEL.077-521-7020 FAX.077-521-7039
- 業務内容/物流システム、遺伝的アルゴリズム(GA)、営業パッケージ(ERP)、エンターテインメントソフト開発、医療ソフト開発
- URL : <http://www.syslab.co.jp/>

「子どもが主役になる」マルチメディア学習システム、  
「天神」の開発を通して子どもたちの自己実現を支援。

1992年に学習教材会社を設立。「日本一実際の効果がある教育ソフトをつくろう!」を合言葉にマルチメディア学習システムの開発をスタート。1995年に「小学天神」発売を手始めに、幼児から大学入試までの自宅学習に対応。全国の公立・私立の教科書に準拠したオーダーメイドシステムを提供し、毎日のように届ける「励ましメール」や「解説メール」などが学習の継続性を約束する。小中学校の導入も含め、利用者は47都道府県で1万5千人を突破。今後、産学共同で新しい教育ソフトの開発に取り組むとともに、天神ブランドの確立に注力している。



アグネス・チャンのお子様も使われているという。



株式会社タオ  
代表取締役社長  
井内良三さん

- 本社/栗東市手原5-6-19 五番街ビル3F
- 設立/1992年
- TEL.077-552-8372 FAX.077-552-8376
- 業務内容/教育ソフトの企画開発と販売、メール自動作成ソフトの企画開発と販売
- URL : <http://www.tenjin.cc/>

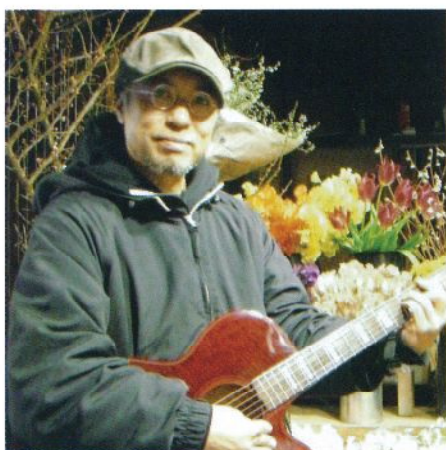


CULTURAL@SHOP

心が癒される  
心の贅沢館

日常の喧噪から離れて、ゆったりした時間のなか  
でいやされる贅沢な空間を提供している  
お店を紹介します。

## 花屋かずろう王国



### 中村一弘さん(41歳)

#### ●プロフィール

大学を出て電機メーカーに勤務したものの「商売人になろう」と1年半でサラリーマン生活にピリオド。生花市場、花屋での修業を経て地元の花店をオープン。「花屋にならなかつたら板前になりたかったんですよ。単なる物販ではなくて、“創り上げてキレイに見せる”仕事ができたらいいなと思ってましたね」



『ひらめき』をカタチにして、  
人と人とをむすぶ  
日本で一番でなくともいい  
規模が小さくても、  
地元でNO.1でありたい。

●夫婦できりもりする旧街道沿いの花店。店主の選んだ季節の花が30~50種類並ぶ。社名の三龍商店は母方の名字。

### 心の贅沢◆観る

その季節に一番キレイに咲く花を  
自然のままに届けたい。



●かつて洋服の仕立てをしていたという  
母方のおじいさんの遺影が見つめる店の間。  
奥に見えるのは愛用のギター。

東海道五十番目の宿水口。「碧水城」と呼ばれた水口城址のそば、通称「広小路」の一角に

その“王国”があります。棟木に江戸寛永の年号が刻まれているという町家が「花屋かずろう王国」のお店。旧街道の商店街、アンティークな雰囲気店内に、色鮮やかな季節の花が並びます。どこの花屋さんでもよく見かけるガラスケースはなく、あるのはオイルヒーターのような格子状のパイプ。「夏場はここに水を流して部屋の温度を下げています。ガラスケースの中にある花って味気ないでしょ。出来るだけ自然の中で、その季節に一番キレイに咲く花を提供したいですから。ずっとこのスタイルで売ってきました」と店主の中村一弘さん。この町家は中村さんが生まれ育った家で、「かつては母方の祖父がここでテーラーをしていたんですよ。天井が低く、店の間からウナギの湯床のように奥へとつづく竹まい。「花には、適度な環境なのかもわかりませんね」と中村さん。花たちが、まるでディスプレイのように古い町家に馴染み、ほのかに温かみ



## 心の贅沢●楽しむ

“王国”は、ココロある人々が集まって生まれた“合衆国”。



●小学生から高校生まで、30人ほどの子どもたちが学ぶ。

土山の親戚が持っていた店舗が空いているからと始めたのが「フラワーアレンジメント教室」。広すぎるので半分を貸し教室にしたことがきっかけで、カルチャー教室「cocoloR(こころあーる)company」が生まれました。そして、知り合いの娘さんの勉強に付き合ったことがきっかけで複数の中学生の勉強を見ることになり、これがマンツーマン形式の塾を始めるきっかけになりました。どうせやるなら自分たちが通いたくなるような塾にしようと思い専任講師を探し、進学塾ではない「心学塾」が生まれました。

中村さんがこの町に花屋をオープンさせたのは15年前。「事業を拡大したいと具体的に何かを始めようと思っていたわけではないんです。偶然というか、人との出会いが新しい仕事をするきっかけになって、そしてその都度、適任のスタッフに出会ってきたんですよ。これはもう、自分の才能かなあと思ってますね」と中村さん。「王国」に心ある人が集まってできた事業。「cocoloR company」と名付けられたゆえんです。

## 心の贅沢■味わう

“ライブミュージック”が人をつなぐ。



●「空から降りてきたメロディ」を歌う、Kazurooのオリジナル曲は150を越え、過去にCDを4枚も出しているとか。「これからも出しますよ」

花が並ぶ店の奥に、さりげなくギターが置かれています。花屋の店主中村さんのもう一つの顔がミュージシャン。仲間と「the kazuroo king states」というバンドを結成し、水口を中心にライブ活動を続けています。学生時代から身近にあった音楽。故郷に戻ってよりメッセージ性の強い歌が作られてきたとか。「ぼくらは“ライブミュージック”って言ってますね」と笑う中村さん。不定期にライブを行うほか、毎年夏には、様々なジャンルで音楽を楽しむ人たちが集うコンサート、“夏の音展”もコーディネートしています。

「花屋を始める時に『王国』なんて名前を付けたのは、共感してくれる仲間やお客さんと出会ったら一つの国ができるかなあという思いからです」。

中村さんの“ひらめき”から生まれたステキな「王国」は、これからもいろいろな人との出会いがあり、進化し続けるでしょう。故郷を歌う“ライブミュージック”、ぜひ味わいたいものですね。

を感じさせる空間に。地元のお客さんが気軽に声をかけてやってきました。「王国」は花を売るだけでなく、地域のコミュニティの場になっているようです。

### ●「花屋かずろう王国」オフィシャルホームページ



「花屋かずろう王国」のほか、「cocoloR company」、「心学塾」、音楽活動のページなどがあります。

<http://www.mcv.zaq.ne.jp/kazuroo/>



### 花屋かずろう王国

(有限会社三瀧商店)

〒528-0027 甲賀市水口町城内8-15 TEL.0748-62-8741

●定休日/毎週月曜日(配達可) ●営業時間/9:00~7:00



## わが社の ホームページ自慢

八荒堂

<http://www.hakkoudou.net/>



「猪・鹿・蝶」ではなく、「猪・鹿・猿」との戦いです。それほど自然に恵まれた比良山麓にある自作田でとれた超低農薬の自作米を原料として一枚一枚昔ながらの手焼きで、かきもちを作っています。

動物は、安全で美味しいものをよく知っているので秋に頭を垂れた稲穂を狙い山から下りてきます。毎日、電柵が壊されていないか確認し、ようやく一年に一度の収穫を迎え、餅・かきもち・あられの商品になります。

ただただ、安全で美味しい原料を使い、機械焼きにはない昔懐かしい素朴なかきもちをお届けしたい。そんな想いで日々、焼き網に向かっていきます。味付けも、もち米本来の味を生かすための程よいものに仕上げています。

ぜひ一度、新米で作ったかきもち・あられをお茶うけにご賞味頂ければ幸いです。



アルパ通信株式会社  
柿添かおるさん

〒525-0035 滋賀県草津市西草津2-3-17  
TEL.077-566-6185 FAX. 077-566-6186  
e-mail : info@posting.co.jp

## 「ありがとう」を 沢山いただける会社に！

依頼を受けて広告チラシなどを戸別配布するポスティング。柿添さん(写真)は、2001年5月にアルパ通信(株)を立ち上げ、このポスティング事業を始められました。現在では当業界で県内最大手へと成長。「仕事のスピードがウチの強みです」と柿添さん。200人のスタッフを抱え、15万世帯を対象にたった2日間でチラシを配布し終えることが可能です。同社の成長要因は、仕事の早さに加え、その質の高さにもあるようです。チラシがポストの中でクシャクシャになって依頼主も受け取る人も困る、そんなことがないように必ず折りたたまれ、丁寧にポスティングされます。また、10人のスタッフリーダーが配布漏れなどを迅速にチェックする体制など。経営目標は「ありがとうの言葉を沢山いただける会社づくり」、そのために「お客様やチラシの配布先などいつも相手のことを考えた仕事を心がけている」とのこと。「開けるのを楽しみにして下さるようなポストを増やしたい」「女性の能力を活かせる新しい事業も考えていきたい」と夢は広がります。

●このコーナーでは、skk登録企業の中から魅力的なお仕事をされている方を紹介しています。

インターネットで簡単検索  
滋賀県企業情報検索市場  
スキ スズキ  
http://skki.shigaplaza.or.jp/

入会金  
年会費など  
無料

詳しい情報は、滋賀県企業情報検索市場 skki(すずき)をご覧ください。skkiには、この他にも多数の企業の情報が掲載されています。また、登録企業を募集しています。



企業のやる気を応援します！

## 財団法人滋賀県産業支援プラザ

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2番1号 コラボしが21(2階)  
TEL.077-511-1411(国際ビジネス支援・情報管理グループ)  
FAX.077-511-1418 URL : <http://www.shigaplaza.or.jp>  
e-mail : info@shigaplaza.or.jp

### 編集後記

エレベータは、アルキメデスがロープと滑車を用いるものを開発したのが起源だとの説があります。中世にはヨーロッパで実用的なものが表れ、重りを用いる現行式エレベータの原型は17世紀に発明されたそうです。近代的エレベータを開発、普及させたのはオーチスですが、昨今では、リニアモーターの原理を使ったエレベータも幾つかの企業で実験中だとか。県内の関連企業にもエレベータ史に足跡を残してもらいたいものです。